

協 定

平成16年1月に、熊本市と大津町、菊陽町及び水循環型営農推進協議会の4者で「白川中流域における水田湛水推進に関する協定」を締結し、水田を活用した地下水かん養事業を開始しました。

この結果、地下水の保全に大きな成果を上げることができたことから、平成26年1月に第2次協定、令和6年2月には第3次協定を締結し、20年を超える長い期間事業を実施しています。

近年の熊本への半導体関連企業の進出を契機に地下水かん養の重要性が高まっていることから、事業の更なる推進に取り組めます。

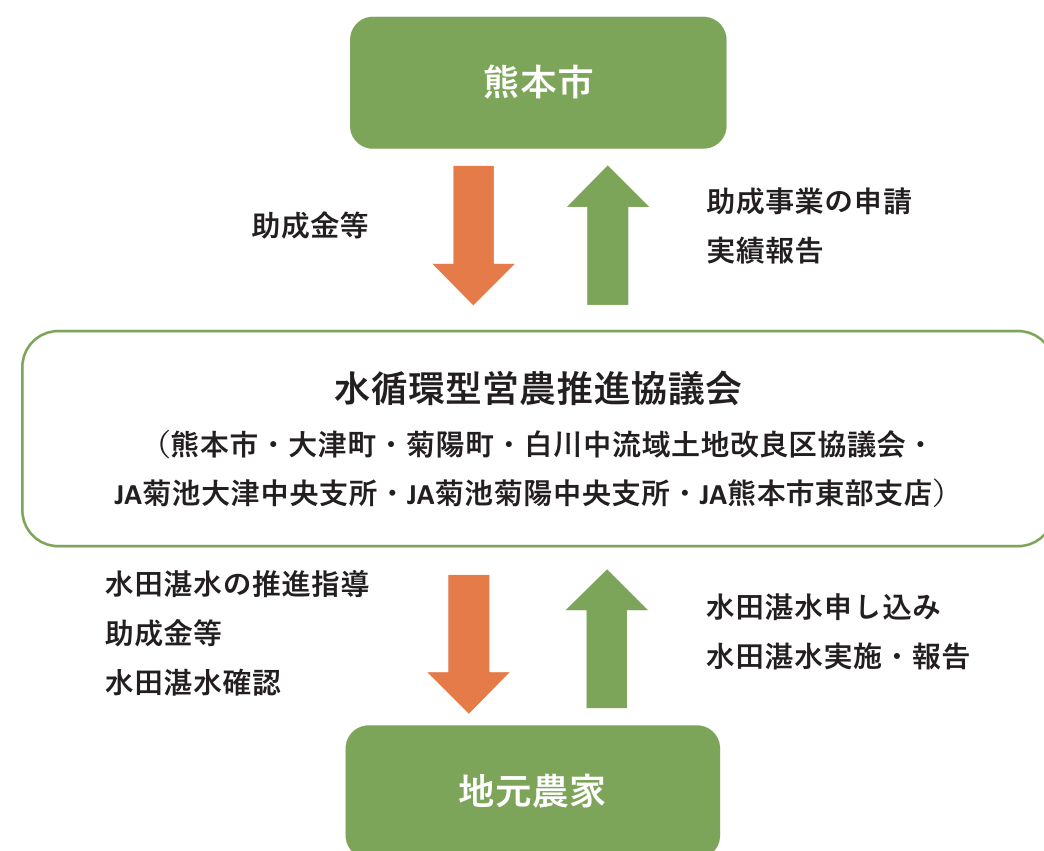
事業の仕組み

この事業は、熊本地域の地下水かん養に大きく貢献する白川中流域の水田において、営農の一環として行われる湛水を対象に、熊本地域の下流に位置し地下水の最大の恩恵を受ける熊本市が助成金を交付することで地下水のかん養を促進するものです。

事業の流れとしては、まず「水循環型営農推進協議会(以下、協議会)」が農家に対して、水田における湛水の推進指導を行い(水循環型営農推進運動)、湛水への申込みを募ります。

次に、各農家は協議会へ湛水の申込みを行い、その後、協議会は申込みをとりまとめて市へ助成金の交付を申請します。

湛水実施後、市は実績に応じて助成金を交付し、協議会を通じて各農家に支払われます。



交流連携

白川中流域の農業が果たす地下水かん養の重要性に関する理解を深めるとともに、大津町、菊陽町及び熊本市の相互理解と交流を促進するため、地下水かん養域である白川中流域の水田において、地元自治体等との協力連携のもと、米づくり体験や地下水に関する学習イベント「田んぼの学校」を開催しています。



「水の恵み」ブランド

白川中流域の地下水を育んだ農地で生産された農産物(人参など)は「水の恵み」ブランドとして販売されています。低農薬・減化学肥料栽培された安全かつ高品質な農産物で地下水保全にも大きく貢献しています。



世界から注目される地下水保全の取組

令和4年4月23日～24日に日本を含む31か国が参加する「第4回アジア・太平洋水サミット」が熊本市で開催されました。このサミットでは、大西市長が市域を超えた熊本地域全体の地下水保全の取組について発表し、参加者から大きな反響をいただきました。

また、令和5年3月22日～24日には国連本部(ニューヨーク)で開催された「国連水会議 2023」でも大西市長の発表の場が設けられました。

さらに、令和6年5月18日～25日には水と衛生に関わる様々な問題について議論する世界最大の水の国際会議「第10回 世界水フォーラム」がインドネシア・バリで開催され、大西市長が、熊本市の地下水保全の取組等について発表するなど、本市の取組は世界から大きな関心が寄せられています。



問い合わせ先

熊本市 環境局 環境推進部 水保全課

TEL:096-328-2436 FAX:096-359-9945

e-mail:mizuhozen@city.kumamoto.lg.jp

web:https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/list01005.html

白川中流域水田を活用した 地下水かん養事業 世界に誇る地下水都市・熊本



熊本市が取り組む地下水保全対策はHPでも紹介しています。

